

# 令和元年度事業報告

【(注) 1. ◎印は令和元年度新規事業を示す。】

## 1. 訪問看護等在宅ケアの質向上に関する教育等事業

### 1) 認定看護師教育に関する事業

認定課程は休校。2019年度認定教育課程教育機関連絡会に参加した(7月29日)。

### 2) 訪問看護等在宅ケアに関する研修事業

#### (1) 2019年度訪問看護eラーニング

- ・開講期間：2019年4月19日～2020年5月16日まで  
3月末の受講者数：1,898名(計画1,600名/年)  
※31都道府県看護協会の訪問看護師養成講習会で活用されている。
- ・2020年度改訂版を作成した。

#### (2) 集合研修(集中セミナー含む)

##### ●制度、組織管理関連研修

①請求業務の基本～本財団発行の「2018年版訪問看護関連報酬・請求ガイド」を活用

【大阪】日時：4月20日(土)・21日(日)

会場：大阪コロナホテル

申込者：81名

【東京】日時：7月20日(土)・21日(日)

会場：CIVI研修センター秋葉原

申込者：168名

【名古屋】日時：8月31日(土)・9月1日(日)

会場：AP名古屋.名駅

申込者：127名

②訪問看護経営セミナー～経営の黒字化を目指して～

【東京】日時：6月15日(土)

会場：CIVI研修センター日本橋

申込者：71名

③2020年度報酬改定セミナー

▼感染症のため中止

【東京】日時：2020年3月20日(金)

会場：東京工科大学 蒲田キャンパス

申込者：500名

④訪問看護管理者セミナー 訪問看護ステーションにおけるICT化の先取り

【東京】日時：12月7日(土)

会場：ベルサール新宿グランド

申込者：87名

⑤看護職起業家交流セミナー

地域包括ケアに役立つ訪問看護ステーションの多角経営

～療養通所介護・児童発達支援事業等、看護小規模多機能型居宅介護～

【東京】日時：12月7日(土)

会場：ベルサール新宿グランド

申込者：112名

⑥在宅ケアのリスクマネジメント

～災害と情報漏えいに備える～

※認定看護師のためのフォローアップセミナー

【東京】日時：12月7日(土)

会場：ベルサール新宿グランド

申込者：245名

##### ●実践力強化のための技術習得研修

⑦ステップ1 在宅における訪問看護過程の展開～アセスメントからアウトカム評価まで～

【東京】日時：5月11日(日)

会場：CIVI研修センター日本橋

申込者：128名

- ⑧ステップ2 臨床推論に基づくフィジカルアセスメント  
～アセスメントから看護内容を導き出す指導・助言～  
※認定看護師のためのフォローアップセミナー
- 【大阪】日 時：5月25日（土）  
会 場：大阪コロナホテル 申込者：143名
- ⑨ステップ2 臨床推論に基づくフィジカルアセスメント  
～アセスメントから看護内容を導き出す～
- 【東京】日 時：7月13日（日）  
会 場：CIVI 研修センター日本橋 申込者：170名
- ⑩小児訪問看護（医療的ケア児等）の基本と演習～初心者編～【2日間研修】
- 【東京】日 時：7月26日（土）、27日（日）  
会 場：CIVI 研修センター日本橋 申込者：78名
- ⑪精神障がい者の在宅看護セミナー【3日間研修】  
（精神科訪問看護基本療養費の届出要件を満たす研修）
- 【東京】日 時：8月23日（金）、24日（土）、25日（日）  
会 場：ベルサール神田 申込者：419名  
日 時：2020年2月28日（金）、29日（土）、3月1日（日） ▼感染症のため中止  
会 場：ベルサール神田 申込者：336名
- 【大阪】日 時：9月27日（金）、28日（土）、29日（日）  
会 場：大阪コロナホテル 申込者：294名
- ⑫質の高い在宅看取りケア実践のためのELNEC-J2019【2日間研修】  
※日本財団助成事業
- 【大阪】日 時：9月14日（土）、15日（日）  
会 場：大阪コロナホテル 申込者：59名
- ⑬在宅認知症者のユマニチュード ～イヴ・ジネスト氏から学ぶ～
- 【東京】日 時：10月5日（土）  
会 場：JNA ホール 申込者：108名
- ⑭ステップ3 訪問看護師がおこなう非がんの症状マネジメント  
～心不全・脳梗塞・慢性呼吸器疾患等～
- 【東京】日 時：10月26日（土）  
会 場：CIVI 研修センター日本橋 申込者：170名
- ⑮小児訪問看護の課題解決セミナー ～経験者編～
- 【東京】日 時：11月1日（金）  
会 場：CIVI 研修センター日本橋 申込者：70名
- ⑯ステップ4 訪問看護師がおこなうリンパマッサージ  
～一緒に療養者の苦痛を取り除きませんか～
- 【東京】日 時：11月2日（土）  
会 場：CIVI 研修センター日本橋 申込者：102名
- 専門領域の基盤整備
- ⑰コンサルテーションの極意取得セミナー  
～実践・指導・相談業務のブラッシュアップ研修～  
※認定看護師のためのフォローアップセミナー
- 【大阪】日 時：8月17日（土）  
会 場：CIVI 研修センター新大阪東 申込者：104名

⑱ステップ5 訪問看護師と多職種連携セミナー

～多職種に看護の必要性和価値を伝えるプレゼンテーション力を強化～

【東京】日時：11月16日（土）

会場：CIVI研修センター日本橋

申込者：56名

⑲多職種交流セミナー 人生会議・ACP（アドバンスケアプランニング）の進め方

～グリーンケアを含めた人生会議の進め方～

【東京】日時：12月7日（土）

会場：ベルサール新宿グランド

申込者：176名

⑳「医療的ケア児等コーディネーター育成研修」 ※在宅ケアセンターひなたぼっこで開催

・医療的ケア児等支援者養成研修（2日間）

【愛媛】日時：11月18日（月）19日（火）

会場：愛媛県障がい者福祉センター

申込者：68名

・医療的ケア児等コーディネーター養成研修（4日間）

【愛媛】日時：11月18日（月）19日（火）26日（火）27日（水）

会場：愛媛県障がい者福祉センター

申込者：32名

●トピックス研修（理学療法士協会との共催）

「専門性を活かしてワンチームで地域を支える！～訪問看護ステーションにおける看護師と理学療法士のより良い連携～」

【東京】日時：2月15日（土）

会場：TKPガーデンシティ PREMIUM 田町 申込開始：12月16日 申込者：120名

3) 第3号研修機関による研修

・喀痰吸引等の第3号研修を令和2年2月実施

▼感染症のため中止

**2. 訪問看護等在宅ケアの運営支援に関する事業**

1) 電話等による相談事業

毎週月・水・金（9時～16時）に実施（ただし4、5、6月は人員体制不備のため月・金のみ実施）

※随時電話相談ミーティングにより相談内容の動向を報告、対応方法について確認、厚生労働省への情報提供や照会等を行っている。一般市民からの相談もある。

・3月末までの総件数：7,166件（電話：5,512件 メール：1,507件 Fax：147件）

・相談内容：精神科訪問看護、医療保険と介護保険の区分け、訪問看護指示書等に関する相談が多かった。

2) アドバイザー個別相談・コンサルテーション事業

(1) 訪問看護認定看護師活用による相談指導助言（アドバイザー派遣）

※日本財団助成事業

<個別相談会（地域派遣）>

・アドバイザー個別相談会事前ミーティングを開催した（8月6日）。

・アドバイザー数：訪問看護認定看護師18名（うち9名は新規）

・申込件数：15件（予定相談件数：27件）

・個別相談実施件数：【東京】4件

【大阪】3件

【岡山】4件

・アドバイザー個別相談会事後ミーティングを開催した（1月14日）。

(2) 顧客満足度調査事業

相談は1件あったが申込は無かった。

- (3) 訪問看護ステーション開設相談 (5 件)
- (4) 療養通所介護・児童発達支援・多機能型事業の開設・運営相談事業  
・財団立療養通所介護ひなたぼっこにて対応：12 件(電話 7 件、来所 6 件)

### 3) 講師派遣・紹介等による訪問看護等在宅ケアの教育支援事業

講師派遣件数：137 件（事務局:32 件、4 訪問看護ステーションの合計 105 件）

## 3. 訪問看護等在宅ケア調査研究並びに事業運営を通じた事業等の開発・制度改善等に関する推進事業

### 1) 調査研究に基づく情報提供

#### (1) 調査研究

- 療養通所介護および児童発達支援事業等の開設・運営ガイド（仮称） 作成中
- 千代田区在宅療養実態調査（令和元年度）  
千代田区の高齢者施策の一環として、災害時支援体制の構築や在宅療養者の生活実態を把握するための 2 年計画の調査。1 年目は訪問看護ステーションを対象に調査し、2 年目の今年度は、医療機関及び居宅介護支援事業所の実態調査を行い、課題と提案を整理した。
  - ・打ち合わせ会（4 月 26 日、6 月 26 日、7 月 22 日、3 月 31 日）
  - ・検討会の開催（5 月 30 日、2 月 20 日）
  - ・ケアマネジャーグループインタビュー（10 月 29 日）
  - ・千代田区で訪問診療している医師へのヒアリング調査：8 か所（8 月 28 日～9 月 20 日）
- 「イラストで学ぶ認知症の人の生活支援」（日本訪問看護財団監修：令和 2 年 3 月 30 日発行）  
2014 年度厚生労働省 老人保健事業推進費補助金で作成した「在宅認知症者のステージごとの生活障害に応じたケアガイド」が好評であったため、イラストに解説を加え書籍化した。
- 学校における医療的ケア実施体制構築事業（文部科学省委託事業）によるマニュアル等検討委員会開催（10 月 4 日、2 月 18 日）  
ワーキング委員会開催（10 月 9 日、12 月 2 日、1 月 9、22、30、2 月 20 日、3 月 19 日）  
「学校における医療的ケア実施対応マニュアル（看護師用）」及び、「学校における教職員によるたんの吸引等（特定の者対象）研修テキスト（例）」を作成した。

#### (2) 研究倫理委員会の開催

千代田区や文部科学省の委託調査研究事業のため、開催を必要とする案件はなかった。

### 2) 調査・研究、事業の開発、情報提供及び行政への政策提言のための訪問看護ステーションの運営

#### 【全訪問看護ステーション共通の実施事項】

訪問看護等事例検討会の開催、訪問看護師の教育支援、制度・報酬の同時改定後の課題整理・提言、訪問看護普及キャンペーン、日本看護サミット 2019・訪問看護サミット 2019 への参画

#### (1) おもて参道訪問看護ステーション

- ・在宅酸素ガス協会委員会委員
- ・「在宅酸素療法用酸素供給装置の保守点検従事者研修に関する委員会」
- ・東京都看護協会東京都新任訪問看護師就労応援事業
- ・第 3 次医療圏看護管理者会議委員
- ・渋谷区訪問看護ステーション協議会会長
- ・渋谷区在宅医療・介護連携会議推進委員
- ・地域支援事業

出前「けやき通り保健室」を開催して、地域の自治会等住民への健康支援活動や相談事業、

認知症カフェ開設のための地域住民との意見交換会

- ・訪問看護体験実習を受け入れ
- ・訪問看護 e ラーニングの現地研修受け入れ

## (2) 刀根山訪問看護ステーション

- ・大阪府豊能保険医療協議会委員
- ・(一社)大阪府訪問看護ステーション協会理事(当該協会の事務局運営を担当)
- ・豊中市訪問看護ステーション連絡会会長
- ・豊中市地域医療推進会議委員
- ・虹ねっと認知症部会委員
- ・豊中市介護保険事業者連絡会役員・訪問部会長
- ・豊中市医師会宅医療・介護コーディネーター
- ・豊中市在宅医療・介護連携支援センター相談窓口対応
- ・学校における医療的ケア実施体制構築事業における訪問看護ステーションと連帯した学校への看護師派遣のための研究に参加
- ・豊中市内の介護・医療関連会議に出席し、訪問看護関係者との連携推進
- ・訪問看護体験実習・相互研修看護師・e-ラーニングの現地研修受け入れ

## (3) あすか山訪問看護ステーション

- ・日本看護協会 NICU/GCU を退院する児とその家族の支援推進検討委員会委員
- ・日本看護協会倫理綱領検討会委員
- ・東京都の「東京都教育訪問看護ステーション事業」の受託
- ・東京都財務局、保健福祉部の視察受け入れ
- ・東京都在宅療養推進会議訪問看護推進部会委員
- ・東京都特別支援学校運営協議会委員
- ・東京都福祉保健財団の訪問看護ステーション管理者・指導者育成研修委員会
- ・東京都医療的ケア児の専用通学車両運行事業における医療的ケア提供体制整備業務  
(登校バス同乗 7:50~9:10) 週 1 回 8 月まで(対象児の転居により訪問看護エリア外となり終了)
- ・北区在宅医療連携推進会議委員
- ・北区区民啓発推進委員会
- ・北区在宅療養資源検討部会
- ・北区自立支援協議会委員
- ・北区療養相談窓口支援委員
- ・北区訪問看護ステーション連絡協議会長
- ・全国訪問看護事業協会小児訪問看護推進検討部会
- ・東京都福祉サービス第三者評価における評価員
- ・介護職員の喀痰吸引に関する特定の者への現地研修の実施
- ・あすか山訪問看護ステーション 20 周年記念事業で講演会開催(10月22日)  
塚本京子氏(パラリンピック車いすバスケット 銅メダル取得選手)現・東京パラリンピック強化委員)の講演、利用者で結成したバンドと歌手かとうれいこさんのコラボコンサート
- ・地域支援事業「桐ヶ丘祭り(110名)」、がんカフェ、街カフェ「だんだん東十条」にて健康相談

## (4) 在宅ケアセンターひなたぼっこ

- ・在宅推進委員会委員長
- ・地区別タウンミーティング(松山 I 地区)委員
- ・症例検討会・研修会「難病在宅ケア」委員
- ・愛媛県訪問看護協議会理事

- ・「学校における医療的ケア実施体制構築事業」委員
- ・特定 NPO 法人ラファミリエ理事
- ・愛媛県小児科医会ワーキンググループ委員
- ・愛媛県こども支援部会委員
- ・松前町自立支援協議会委員
- ・久万高原町障害者地域総合支援協議会委員
- ・全国手をつなぐ育成会連合会機関誌「手をつなぐ」編集委員
- ・愛媛県がん相談支援推進協議会参考人出席
- ・東温市子供部会
- ・小野・久米地域連携を考える会委員
- ・療養通所介護推進委員会委員
- ・松山市医療的ケア児支援検討会委員
- ・各看護学校・ステップ1の実習受入れ
- ・ステップ1の呼吸管理講師派遣
- ・独立行政法人医療センター看護学校講師派遣
- ・医療技術大学講師派遣
- ・介護事業所定期研修会にて第3号研修の講師
- ・介護支援専門員の勉強会に参加しグループワーク参加
- ・喀痰吸引等の第3号研修を令和2年2月実施予定（再掲）
- ・愛媛県から本財団が受託した「医療的ケア児等支援者養成研修（2日間）」及び「医療的ケア児等コーディネーター養成研修事業（4日間）」の運営に協力（11月18日・19日・26日・27日）（再掲）
- ・療養通所介護・児童発達支援事業所立ち上げ予定者の施設見学・開設相談（再掲）
- ・就労継続支援B型事業「ワークここ」の運営会議が本財団事務局で開催され現況を報告し、対応策を検討した（12月16日）。

**訪問看護ステーション別実績**（令和元年4月1日～令和2年3月31日まで）

区 分	訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン					
	おもて参道	刀根山	あすか山	ひなたぼっこ		
延べ訪問回数	5,844回 (5,795)	6,744回 (4,840)	18,952回 (18,498)	7,259回 (6,297)		
1ヶ月平均 訪問回数	487回 (482)	562回 (403)	1,579回 (1,541)	604回 (524)		
訪問看護従事者数 (常勤換算人員)	6.62人 (7.00)	8.76人 (5.94)	22.40人 (21.30)	8.30人 (7.94)		
実習受け入れ	延 171人	延 333人	延232人	延85人		
講師依頼	15件	10件	67件	13件		
区 分	居宅介護支援・療養通所・相談支援・就労継続支援					
	刀 根 山	あすか山		ひなたぼっこ		
延べ利用者数	居宅介護支援 819人 (831)	居宅介護支援 520人 (448)	相談支援 675人 (355)	療養通所 375人 (387)	相談支援 187人 (69)	就労支援 61人 (12)
従 事 者 数 (常勤換算人員)	2.20人 (2.77)	2.53人 (2.75)	1.0人 (1.08)	12.7人 (12.7)	1.00人 (1.00)	3.0人 (3.0)

注1. 下段（ ）内は平成30年度の実績

延べ訪問回数はレセプト算定分を計上した

### 3) 海外視察等による国際交流事業

- (1) 実施を検討中
- (2) 諸外国からの視察・研修等受け入れ、研修講師派遣
  - ・タイ国からの表敬訪問7名を受け入れた(4月15日)。
  - ・あすか山訪問看護ステーションにて、デンマークから来日されたレーネ・ホレンナーさん(在宅看護コンサルタント)とアンさん(作業療法士)との懇親会を開催した(4月25日)。
  - ・レーネ・ホレンナーさんと通訳者とともに「リハビリテーション看護(仮題)」の編集会議を開催した(11月17日)。

### 4) 訪問看護等在宅ケア領域における政策提言

- (1) 自民党看護連総会に出席し当該会長、厚生労働大臣及び文部科学大臣に看護基礎教育における在宅看護の充実、基金の活用促進、医療・介護保険事業計画への訪問看護ステーション整備数記載、医療的ケア児支援などの要望書を提出した(4月12日)。
- (2) 自民党看護問題小委員会に出席し令和2年度予算関連で、看護提供体制の強化、特定行為やICT化の普及に関する要望書を提出した(8月29日)。
- (3) 高階恵美子参議院議員に医療的ケア児に関する研修の普及対策を要望した(12月17日)。

## 4. 訪問看護等在宅ケアの調査研究等に対する助成事業

- 選考委員会を4月25日に開催し、2件の応募について審査した結果、「テーマ:医療的ケア児の受入れのための出張研修の効果と課題」を1件採択し、事業実施後報告書の提出を受けた(3月31日)。

## 5. その他本財団の目的を達成するために必要な事業

### 1) 広報事業

- (1) 財団ニュースの発行と配布

財団ニュース編集会議を毎月開催し機関紙を発行して会員や行政、関連団体等に配布した。  
176,450部(令和元年4月~令和2年3月、そのうち8月のみ休刊)
- (2) 日本訪問看護財団事業のご案内(「The Home Care 2020」)80,000部発行(令和2年2月15日)
- (3) ホームページによる情報発信
  - ・ホームページアクセス数:1,129,868件(前年比449%)
  - ・訪問看護関連の最新情報や被災地支援状況等を随時情報提供
  - ・会員サイト(財団機関紙の3年間バックナンバー、訪問看護Q&A、ひな形集、各種様式集など)
  - ・ファックスサービス等による情報提供

※令和元年度診療報酬改定・介護報酬改定の概要の情報提供、研修のご案内等
- (4) 小冊子等の作成と無償配布

○在宅医療助成勇美記念助成財団発行「訪問看護活用ガイド」の改訂に協力し、研修会、国際モダンホスピタルショー(7月17,18,19日)で無償配布し活用した。
- (5) 訪問看護普及キャンペーン

◎「Nursing Now」キャンペーンの実施

  - ・日本看護協会主催のNursing Now 実行委員会発足式に出席した(5月11日)。
  - ・全国訪問看護事業協会と共同キャンペーンのため打ち合わせを行った(7月17日、10月9日)。
  - ・第2回Nursing Now 実行委員会に出席した(30団体)。各団体が取組を報告した(10月2日)。
  - ・第3回Nursing Now 実行委員会に出席した(1月9日)。

## 2) 印刷物発行・監修等及び販売事業

### (1) 専門図書、小冊子、テキスト等の作成・配布

- ・「新版 訪問看護ステーション開設・運営・評価マニュアル第3版」(販売)：80冊
- ・「訪問看護お悩み相談室 平成30年版年改定版」(販売)：50冊
- ・「訪問看護お悩み相談室 令和元年版年改定版」(編集・販売)：126冊
- ・「2018年版訪問看護関連報酬・請求ガイド」(販売)：370冊
- ・「2019年版訪問看護関連報酬・請求ガイド」(作成・販売)：699冊
- ・「OJTガイドブック」(販売)：436冊
- ・「OJTシート」(販売)：361部
- ・「OJTバインダー」(販売)：106冊
- ・「日本版成人高齢者用アセスメントケアプラン(財団方式)展開テキスト」(販売)：52冊
- ・「介護職員のための医療的ケア」(販売)：6冊
- ・「個人情報の保護及び情報提供に関する資料集」(販売)：35冊
- ・「早引き 介護のための医学知識ハンドブック」改訂作業を実施(9月)
- ◎「はじめての訪問看護」(編集・販売)：66冊
- ◎「訪問看護報酬請求マニュアル」(編集・販売)：137冊

### (2) 研修テキストを各種研修会ごとに作成配布

### (3) 小冊子等

- ・「訪問看護サービス」(販売)：318冊
- ・「訪問看護でがんばるあなたへ」(販売)：72冊
- ・「訪問看護サービス質評価のためのガイド」(販売)：152冊

### (4) 帳票・記録用紙の改訂・印刷・販売他：7,408部

## 3) 訪問看護等在宅ケア関連職種間の連携促進事業

### (1) 「日本看護サミット2019・訪問看護サミット2019」：日本看護協会との共催

厚生労働省、文科省に後援を依頼した。運営の打ち合わせを日看協と行った(5月31日、7月10日、9月12日、10月25日)。日本看護協会主催の実行委員会に出席した(10月25日)。

安藤和津さん(特別公演)との打ち合わせを行った(8月20日)

開催日：12月6日(金)

会場：パシフィコ横浜国立大ホール

参加者：3,330名

テーマ：「看護が創造する地域の未来～つなげよう！166万人の看護力～」

<解説>「地域包括ケアと看護をめぐる現状と課題～166万人で地域の看護提供体制を実現」

日本看護協会副会長齋藤訓子氏

<特別講演>「未来の看護に望むこと」

エッセイスト・コメンテーター 安藤和津氏

座長：当財団佐藤美穂子常務理事

<鼎談>「超高齢・人口減少社会に期待される新しい看護の形」

参議院議員石田昌宏氏、厚生労働医務技官鈴木康祐氏、東京大学高齢社会総合研究機構特任教授辻哲夫氏

座長：日本看護協会副会長井伊久美子氏

<シンポジウム>「今、看護が創る地域包括ケア」 趣旨説明：日本看護協会理事岡島さおり氏

高崎健康福祉大学教授棚橋さつき氏、愛媛大学医学部付属病院看護部長久保幸氏、北茨木市民病院副院長村田昌子氏、あすか山訪問看護ステーション統括所長・兼事務局次長平原優美

座長：熊本県看護協会会長嶋田晶子氏、慶応義塾大学講師山岸暁美氏

<サミット宣言>福井トシ子日本看護協会会長、清水嘉与子日本訪問看護財団理事長



(2)国際モダンホスピタルショー（7月17・18・19日）へ出展し訪問看護をPR

※日本看護協会の総会は函館で開催され、看護フェアは会場の関係で実施されなかった。

(3)一社団法人日本訪問看護認定看護師協議会の事務局運営を受託

①理事会・理事ブロック長合同会議

- ・理事会の開催（5月12日、9月23日、2月9日）
- ・臨時理事会の開催（5月26日、9月8日）
- ・理事ブロック長合同会議（5月26日、2月9日）

②総会、交流会の開催

- ・総会・同時開催研修会（5月26日） 79名出席
- ・交流会2019（12月6日） 77名出席

(4)療養通所介護推進事業

療養通所介護推進委員会の設置及び活動（8）－（3）で後述

※厚労省老人保健健康等増進事業「看多機及び療通の実態調査委員会（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）」に委員として出席した（9月6日、3月6日）。

(5)訪問看護推進連携会議（日本看護協会、日本訪問看護財団、全国訪問看護事業協会）への参画

訪問看護アクションプラン2025、令和3年度介護報酬改定の要望について検討した（4月23日、12月10日）。

(6)看護系学会等社会保険連合（看保連）に参画

- ・看保連総会に出席した（4月26日）。要望に関する調査に協力した（8月27日）
- ・令和3年度介護報酬改定に関する要望案を協議した（11月5日、2月17日）

(7)その他関連学会、団体等との連携

◎理学療法士協会とより良い連携に関する有識者会議を開催した（7月5日、9月10日）。

その結果、同協会と合同で「訪問看護ステーションにおける看護師と理学療法士のより良い連携」をテーマに研修会を開催した（2月15日）。出席者約120人（約半数は看護職員）※再掲

- ・日本ケアマネジメント学会の理事会、監査に出席した（5月7日、5月20日）
- ・第18回日本ケアマネジメント学会研究大会（シンポジスト）に参加した（6月8日）。
- ・一般社団法人日本在宅医療連合学会設立記念会、学術集会に参加した（5月11日、7月14日）。
- ・日本福祉用具供給協会理事会・第1回福祉用具大会に参加した（6月17日）。
- ・フランスベッドメディカル・ホームケア研究・助成財団理事会に出席した（10月29日、2月7日）
- ・社会福祉法人浴風会の評議員会に出席した（6月26日）。
- ・日本在宅ケアアライアンス会合に出席した（6月21日、10月28日）。
- ・東京都看護人材確保対策会議に出席した（7月24日、9月20日）。
- ・一般社団法人名古屋市療養サービス事業団公益事業企画運営委員会に出席した（7月22日）
- ・公認心理士協会設立記念式典に参加した（9月26日）。
- ・日本在宅ケア学会学術集会に参加した（7月27日）。
- ・日本看護協会主催「看護小規模多機能型居宅介護交流会」に参加した（9月18日）。
- ・秋山正子氏のナイチンゲール記章授与式に出席した（8月7日）。
- ・全国訪問看護事業協会の訪問看護人材養成検討会に出席した（8月26日、11月7、28、29日）。
- ・日本財団と日本財団助成事業について協議した（8月27日）。
- ・一般財団法人もの・こと・思い研究所の理事会等に出席した（6月11日、1月28日）。
- ・日本医師会主催「国民医療推進会議」に出席した（10月8日）。
- ・一般社団法人全国重症心身障害日中活動支援協議会全国大会に参加した（10月10～11日）。
- ・厚労省保険局レセ電子化検討会に出席した（10月17日、12月10日、2月18日、3月18日）。
- ・日本看護協会主催「NICU/GCU在宅移行支援指導者研修」に協力した（11月22日）。
- ・在宅医療助成勇美記念財団主催「在宅医療推進フォーラム」に参加した（11月23日）。
- ・日本在宅看護学会学術集会にシンポジストとして参加した（12月7日）。

#### 4) 被災地支援活動等

- (1) 宮城県名取市における7年間に亘る東日本大震災の被災地支援活動の活動報告書を作成し関係者に配布するとともにHPに掲載した(12月1日)。
- (2) 台風15号及び19号で、帳票類・書籍等の破損・滅失が生じた長野県の訪問看護ステーションに、当財団作成の帳票類、書籍等11冊を無償で提供した。

◎ (3) 新型コロナウイルス感染症に関する情報発信を開始した (HPにバナー作成: 3月6日)。

#### 5) 賛助会員に関すること

令和2年3月末現在の実績は、前年度対比(年度末)個人会員が95.7%、団体会員が102.2% あんしん総合保険加入のため、特別団体から法人会員への移行が多かった。

賛助会員加入状況 (令和2年3月31日現在)

会員種別	会 員 数		
	令和元年度	平成30年度末	対前年度
専門職会員	1,526名	1,613名	▲87名 94.6%
一般会員	49名	31名	18名 158.0%
学生会員	7名	9名	▲2名 77.7%
専門職能団体会員	51団体	51団体	0団体 100.0%
法人会員	229法人	163法人	66団体 140.4%
特別団体会員	2,195団体	2,206団体	▲11団体 99.5%
合計	個人会員	1,582名	▲71名 95.7%
	団体会員	2,475団体	55団体 102.2%

#### 6) 訪問看護等在宅ケアに従事する者の福利厚生に関する事業

財団会員である訪問看護従事者の福利厚生事業 「あんしん総合保険制度」の普及に努めた。

(傷害保険、什器・備品損害補償、賠償責任保険、感染症見舞金補償、サイバーセキュリティ保険)

#### 7) 寄付金に関すること

寄付の受入状況 (令和2年3月31日現在)

区 分	受納延べ件数	寄 付 金 受 納 額
令和元年度	5件	200,000円
参 考	30年度	9,318,019円
	29年度	170,000円
	28年度	14,313,353円
	27年度	378,789円

※令和元年度内訳 (一般会計4件 190,000円 特別会計1件 10,000円)

#### 8) 会議の開催

##### (1) 理事会・評議員会

○第1回理事会の開催した(5月31日)。 出席者: 12名

以下の議案が審議され、全ての議案が原案どおり可決された

・平成30年度事業報告、平成30年度収支決算、評議員開催日時等の決定等

○第2回理事会の開催(新型コロナインフルエンザ感染症予防のため、令和2年3月17日(火)に書面にて開催し、令和2年度事業計画・予算(案)令和元年度保施尿酸案が可決された。

○第1回評議員会を開催した(6月19日)。 出席者: 6名

以下の議案が審議され、全ての議案が原案どおり可決された。

平成 30 年度事業報告、平成 30 年度収支決算、評議員の選任

○第 2 回評議員会（みなし決議：書面評議員会）を開催した（8 月 30 日）。

評議員選任の件

（就任）細野 純氏（公益社団法人 日本歯科医師会 理事）

※辞任の小玉剛評議員（公益社団法人日本歯科医師会 常務理事）の後任として選任した。

○理事会・評議員会に先立ち監事監査を受けた（5 月 28 日、12 月 19 日）。

(2) 在宅看護専門委員会

開催日：12 月 17 日

訪問看護をめぐる動向、財団事業の評価及び令和 2 年度の事業計画案について意見交換した。

(3) 療養通所介護推進委員会

第 1 回療養通所介護推進委員会（7 月 18 日）、第 2 回療養通所介護推進委員会（令和 2 年 1 月 21 日）を開催し、研修の企画及び、「療養通所介護及び児童発達支援等回施湯・運営ガイドの作成について検討した。

## 9) その他必要な事業

(1) あんしん総合保険受付システムの構築に着手（令和 2 年 5 月の新規申し込みから稼働予定）

(2) 就労管理システムの導入（令和 2 年 1 月から稼働）。